

田崎悦子ピアノリサイタル

東広島特別公演

ショパン
マズルカを弾く



2023
4/1 (土) 日

東広島芸術文化ホール
くらら小ホール

全席自由

開場 14:30 開演 15:00

入場料 一般 4,000 円 / 前売り 3,500 円 / 学生 2,500 円
会員 (ピティナ広島東支部会員 / 若葉会) 3,000 円

Profile

1979年、シカゴ交響楽団常任指揮者のゲオルグ・ショルティに発掘され、同オーケストラとバルトーク・ピアノコンチェルト第2番で衝撃的なデビューを飾り、一躍国際的舞台上に上がった。その他、これまでに協演した指揮者はサヴァリッシュ、スラットキン、フロムシュテット、小澤征爾など世界一線の指揮者達である。井口秋子氏に師事し、全日本学生音楽コンクールピアノ部門優勝後、桐朋学園音楽部高校を卒業、フルブライト奨学金を得て、ジュリアード音楽院に留学。以後30年間ニューヨークに在住。1970年ブソーニ国際コンクール他で上位入賞し、ヨーロッパ楽壇にデビュー。1972年カーネギーホールにてニューヨークデビュー。

これまでに、シカゴ、セントルイス、ブダペスト、ロッテルダム、スイスロンド他、世界のオーケストラとの協演。アメリカ建国200年記念音楽祭においては、若きアメリカのホープとして、ケネディセンターでのリサイタルに選ばれた。又、ルツェルン、マールボロ、アスペン、サイトウ・キネン、草津音楽祭などの国際フェスティバルに出演。日本ではN響をはじめ多くのオーケストラと協演。ソロでは「ドイッロマンをもとめて」(1987-1997)「三大作曲家の遺言」(1997文化庁芸術祭参加作品)「ピアノ・マラソン」(2001)「NACH BACH」(2004)と、2006年~2009年まで東京文化会館において続行された6回シリーズ「田崎悦子ピアノ大全集」では、ハッハより21世紀までの全ピアノ史を縦断するという前代未聞の企画を完璧、その魂をゆるがず表現力は「一音一音に自身の人生そのものを投影させるかのような演奏は、聴き手の心の奥底まで鋭くえぐり出す」(日本経済新聞)と絶賛され、「日本ピアノ界の金字塔」といわれるイベントとなった。

ハッハピアノマスタークラス「Joy of Music」総合音楽監督。桐朋学園大学音楽部、及び同大学院特任教授。現在、ハッハ山麓に居住。

主催 / ピティナ東広島ステーション・若葉会
後援 / 東広島市教育委員会・ピティナ広島東支部・ピティナ安芸高田ステーション
ピティナ東広島酒蔵ステーション・ピティナドレミステーション・カワイ楽器広島店
協力 / 株式会社ヤマハミュージックリテイリング 広島店

お問合せ先

中野 Tel.090-7549-2115
竹重 Tel.090-4807-9206